

Ⅲ 施策の展開

1 社会のニーズに応じた教育の推進

【主な取組】

(1) 確かな学力を育む教育の推進

● 自ら学び、考え、協働して課題を解決する授業づくり

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力をバランスよく育みます。
- ・ 児童生徒一人ひとりの学習進度や能力、関心等に応じて、多様な学びの選択肢を提供することで、児童生徒が基礎的な学力の習得を含め、主体的に学び続けることができる「※個別最適な学び」を推進します。



確かな学力を育む教育の推進

- ・ 児童生徒が自ら課題を見付け、各教科で獲得した知識・スキルを活用し、異なる価値観を持つ人々と協働して、最善解を創造する「課題発見・解決学習」をはじめとし、これまで気付かなかったことに気付く、考えもしなかったことにまで考えが深まる学習活動の充実を図ります。

(2) 健やかな体の育成

● ※食に関する指導の充実

- ・ 給食の時間等に、栄養教諭や栄養士などの専門的な知識を有する職員が指導に加わり、学校における※食育をより実効的に進めます。また、家庭への啓発も行います。



栄養教諭による食に関する指導

● 運動時間を増やす取組の充実

- ・ 生涯にわたる運動全般の基本的な動きを身に付け、身体を動かす楽しみを知ってもらうとともに、子育て世帯への健康意識の向上を促すため、保護者と子どもが一緒に参加できるキッズチャレンジスポーツ(子ども体力測定会)を開催します。
- ・ 運動の機会を意図的に設定したり、運動が苦手な児童生徒にも達成感を与えたりすることで、運動の喜びを味わわせ、健やかな体を育成します。



キッズチャレンジスポーツ

(3) ※ICTを活用した教育の推進

● ICT環境の整備・充実

- ・ G I G A (ギガ) スクール構想の加速化により実現された、一人1台端末を活用し、「学習者用※デジタル教科書」や「A I ドリル」を導入するとともに、「遠隔技術」を活用した連携授業等の実現を図り、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと※協働的な学びを実現します。



ICTを活用した授業

● ICT活用能力の育成

- ・ ICT機器を有効活用するために、※ICT指導員、※ICT支援員を配備し、教員のサポートを行います。

(4) 国際教育の充実

● 英語教育の充実

- ・ 外国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを育成するため、引き続き※ALT (外国語指導助手) を全市立幼・小・中学校に配置し、外国語教育の充実を図るとともに、外国語教育における教員の支援を行います。



英語の授業におけるALTによる指導

- ・ ICT機器やデジタル教材を活用し、児童生徒の能力や興味に応じた英語の学習を進め、子どもたちに学習した英語を活用できる発表や対話の機会を設定し、実践的な力を高めま

● グローバル化に対応する国際交流活動の推進

- ・ 廿日市市国際交流協会等と連携し、マスタートン、基隆、サーニッチ、モン・サン=ミッシェル等との異文化交流や遠隔技術を活用した連携授業を行ったりすることで、実践的コミュニケーション能力を育成します。
- ・ 日本語による授業を受けることが困難な外国籍の児童生徒に対して、関係機関や団体と連携を図り、日本語指導の充実に努めます。

(5) 自然体験学習の推進

● 豊かな心を育む自然体験学習の推進

- ・ 本市の豊かな自然を活用して、子どもたちに体験学習の機会を設け、主体的に活動することや、友人や地域の人、専門家など多様な人との関わりを深めることを通して、生きる力を育みます。

(6) 教職員の指導力向上

● 教職員の研修の充実

- ・ 教育現場を取り巻く今日的な課題や学校の実態に応じた質の高い研修会（プロGRESS研修）を新たな形態（同時双方向のオンラインや、動画配信等のオンデマンド）でも実施し、教職員の指導力の向上及びデジタル技術の進展・高度化をはじめとした社会環境の急激な変化にも柔軟に対応できる教職員の育成を図ります。

● 教職員へのサポート体制の充実

- ・ ICT機器を有効活用するために、ICT指導員、ICT支援員を配備し、教職員へのサポートを行います。
- ・ 「学校における働き方改革取組方針」や「廿日市市立中学校における部活動の方針」に基づき、教職員の業務負担の軽減を図り、その専門性が十分に発揮され、子どもと向き合う時間を確保するため、働き方改革を進めます。

【指標】

	指 標	現状値（R元年度）	目標値（R7年度）
(1)	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合（※全国学力・学習状況調査）	小 81.8% 中 80.8%	小 85.0% 中 85.0%
	話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）	小 78.1% 中 79.5%	小 83.0% 中 83.0%
(2)	運動やスポーツを週に3日以上実施している児童生徒の割合（※児童生徒の体力・運動能力調査）	小 49.4% 中 67.1%	小 50.0% 中 70.0%
	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合（児童生徒学習意識調査）	小 96.0% 中 94.3%	小 100% 中 100%

	指 標	現状値 (R元年度)	目標値 (R7年度)
(3)	I C Tを活用した授業を実施している 教師の割合 (学校における教育の情報化の実態等 に関する調査)	小 72.0% 中 67.4%	小 100% 中 100%
	Google Classroomを活用した授業を行 う教員の割合 (市独自のアンケート調 査)	—	100%
(4)	外国人と積極的にコミュニケーション を図りたいと思う児童・生徒の割合(児 童生徒学習意識等調査)	小 81.9% 中 49.9%	小 85.0% 中 60.0%
(5)	実際にものを使ったり、地域や自然の 中で学習したりするなどの体験活動 をしている児童生徒の割合 (児童生徒学 習意識等調査)	小 69.4% 中 59.2%	小 80.0% 中 70.0%
(6)	I C T指導員・I C T支援員の配置人 数	2人	7人
	時間外勤務が月平均45時間を超える 教職員の割合 (在校等時間記録)	小 43.8% 中 58.0%	小 0% 中 0%